(明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可)（月曜日休刊）日曜及祭日の翌日休刊 明治四十二年五月廿三日（日曜日） 第百十六號 （一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●我邦商業の缺點（下）

男爵 目賀田種太郎氏談

第二、我が邦商業の組織方法は不完全なり

我が邦にて商業の組織經營方法の不良なるは、清酒を拡破にて海外に輸出するが如きを見ても知るべく、是れ全く内地商業と外國商業との經營方法を混同したるものなりと謂はざるべからず從來我が邦にては商人を目して所謂前垂掛と稱し商人は前垂掛にて敏活なる態度に出づるを稱揚せり此の意義に於ける前垂掛主義は縱令商人ならざる官吏と雖も、其精神を取るべく余輩が官吏をして人民に接するには常に此心掛を以てせり然るに今日普通の前垂掛なる者は契約期日迄に其契約を履行せず之を責むれば恐縮せりと云ふ契約を履行せずして恐縮せりと一言を發したるのみにて文明の商人と云ふべけんや故に余輩は前垂掛なる語は封建時代の商人の代名詞にして今日の如き世界的商人の代名詞とするに足らずと思惟せらるゝなり余輩が商人に對し或る用事を以て電話を掛くるや、往々當事者の不在、旅行中、病氣等の口實を以て其契約不履行の責を免れんとするもの大會社にして尚且斯かる不体裁の所爲少からざるなり之を以て其商業の組織方法の改良せられたるものと謂ふべけんや大商人にありては宜しく前垂掛を廢して「フロックコート」を着用すべし今日の商人は前垂掛に非ずして「フロックコート」の時代に入れるものと信ずるなり

第三、我が邦商業は世界的ならず

我が邦の商業は地方的にして世界的ならざるの弊あり、關東州に於て製鹽事業に適合せりと聞き何等の調査を遂げずして直に茲に於て製鹽事業に從事せしものあれども朝鮮にては關東州と同樣に天日にて製鹽するを得朝鮮の需要は朝鮮にて十分之を供給するを得別に之を關東州に仰がざるも可なり然るに之を知悉せずして關東州に鹽田を開くが如きは其愚も亦甚だしからずや、即ち我が商工業者は其需要供給の如何を十分研究せざるが如し、是れ世界的智識の缺けたるが爲めなり内外人共同事業が往々蹉跌せる者あり、又貿易の勃興せざるは要するに我が邦商人が其經營の才に乏しき結果ならずとせず、今日頻りに人才の缺乏を唱道するものあれども余輩の見る所にては現代決して人才なきに非ず只時弊に凌駕し得べき有爲の人物なきを嘆ずるなり、曩年我が邦は普國と條約を變換したるが後獨逸帝國皇帝の位に即きたる普國王ウヰリアムは我が邦に使節を送るに際し僅に商船を借入れて之に搭乘せしめたり、是れ未だ其國が微弱なりしが爲めなり然るに今日の獨逸帝國が隆然國威を世界に輝かす所以は何ぞや、是れ一は商業の研究の結果ならざるはなし我が邦も今日に於ては徒に舊幕府時代の慣習を踏襲せずして智識を世界に求め大に科學的研究を爲し以て從來の弊資を矯めざるべからず（東京經濟雜誌）

文苑

●深山の人 柴月

ゆかしき峯の松かせを　朝な夕なに友として
清きながれや谷川の　水にこゝろを洗ひつゝ
めぐみも深かき千代君の　いとゞ樂しくすごされん
幸ちとは君が上ならめ　深山の奥に住むとても
なげき給ふな千代君よ　京の都をなにやせむ
上野のはなも何かせむ　深山の奥はなか〳〵に
樂しかるらむ汚れたる　浮世の風もふきゆかで

●眞の同情 幽眠

泥峴街一丁目にヅラリと並んで居る露店の中に此の間迄繪葉書屋があつた、そこに二十五六の肥ゑ太つた婦人が居つた、而も此の婦人は五六年前から同じ處で同じ商賣をして居つた、或る夜のこと僕は好奇心に驅らるゝ儘其の婦が店を仕舞つて歸つて行く跡をつけた、所が遠い〳〵トゥ〳〵光化門の横手の方迄引つ張られて行つた、聽て只あるいぶせき温突の前で婦は立ち止つた「君ちやん眠むかつたらうね……」「お母さん今歸つたの……」僕は胸にガックリ「僕の妻もあのやうな境遇かしら……」とツク〴〵同情を寄せた。

●ぶんなぐれ節 放浪子

今より十數年前、故後藤象次郎が農商務大臣で齋藤修一郎が其次官、故星亨が下院議長であつた頃、取引所問題で齋藤が金時計を貰つたとか、星亨が收賄したとかで、官紀振肅贖職問題が喧ましきころ、我知人某が憤慨して、ぶんなぐれ節を作る「大臣だ次官だ大きな面をなんだ盜棒奴ぶんなぐれ」と都下の書生間になんだ盜棒奴ぶんなぐれ節が流行した、昨今京城の有樣を見ると何となくぶんなぐれ節を流行させたくなつた



佐倉宗吾（八十七）

眞龍齋貞水講演

宗吾は子供の無邪氣な顔を見るにつけ、女房の丹精の一方ならざりしを喜び、更に言葉を繼けまして 宗「拼しれ美禰、御門訴の手違るから、賴みに思つた御家老の堀田大和樣、川越播磨樣が御切腹、情けない事に成つた故、御大老樣へ御駕籠訴を致した所、是れは御採り上げには成つたが、堀田樣の剛情から、未だ以て埒明かぬに依つて、是から絶体絶命の願書を、殊に據ると將軍家へ奉らねばならぬ、併し生命には拘はるまいかと思ふ……イヤ生命に拘はるかも知れぬ」と口の内、宗「併しながら何うあつても二月や三月は、牢の中で苦しまねば成らぬかも知れぬ、其時かよはき此宗吾、若し死なぬとも限らぬから、此百兩の金を遺し置くぞ、是は仔細あつて、上野から頂いた金子、若し私が牢死したならば、お前達が宗吾の妻子なりとあつて、村拂ども成らうも知れぬ、其萬一の手當の金子、この百兩あらば當分困りもせまい、それに少しは田地もあれば、之も皆な賣拂ふたら、何とか成らぬ事もあるまい、併し缺所に成つて見るど、それまで御採り上げに成らぬとも知れぬが、萬が一聊かなりと子供に下し置かれるやうな事があり、それを賣拂つたら又どうにか成るであらう、夫から安治喜の宿の島屋源兵衛は、日頃から懇意にしたものから、萬一の時は、源兵衛方へ參つて話してくれ再らすれば源兵衛がお前方の身の上に就いては何かにつけて心配いたしてくれる筈又東叡山三十六坊の御入人をしてゐる、井筒屋五郎兵衛と謂ふ者も、これは〳〵偉い俠客で、マア謂はゞ、昔の幡随院の長兵衛、花川戸助六と謂ふ程の義俠心の強い人であるから、委細の事を頼んで置きました故、其人へ依頼つて往けば、決してお前方の惡いやうにはせぬから、希うか、マア、此二人を依頼りと思つて、何事も此二人へ相談してくれね、何分後の事は頼みます」と落ちもなく話しをする内に、お美禰は涙を頻りに流し 美「そんなら良人は是から江戸へ引返して、將軍樣へ御直訴をなすつて、御礼明を受ける思召でございますか」と云ふ時に一室の内より立出でたる母親がワツと計りに泣き倒れ 母「コレお美禰最前宗吾殿が立歸つて言はつしやるには、埒が明かぬから、一時立戻つたやうに話しは聞きましたが、又いま容子を聞いて居れば夜の明けぬ内に、是から引返すやうな容子お前方に心配をさせまいと、最前から綾取て話しをする宗吾の心の中、一室の内から聞いて實は私は氣の毒に思ひました、コレ宗吾や、其身は一先づ立歸り、此老母や妻子の事を案じ、手當を致して引返したる上將軍家へ御直訴を致し、御命を棄てる覺悟であらう、イヤもうお前が皆まで言はねでも年齢を老つたる此母親、よくもお前の胸中は分つて居ります、養子の身の上ゆゑ、家に瑕瑾を附けまいと、始終心配して御居だが、イヤもうお前は、多くの人の生命を助ける其ため、又は御領分御百姓殘らずの難儀を救はうと、一身を捨てこの此度の御直訴、たとひ此家が何う成り行くとも、必ず心配するには及ばぬ、妾が冥途へ赴けば先代宗吾どのに會ひまして、委細の話しを致します、万一自家へ瑕瑾が附くとも末代までお前の名前は朽るやうな事はございますまい、左すれば家の功を樹つるも同樣なり、コレお美禰、天晴な良人を有つて其身は仕合せ斯う成るからは嘆くに及ばぬから早く支度を致させ、無事に江戸表へ引返し立派に男らしき最後を遂げさせてくれ、ア、偉い事でございます」と口は立派に利きますが、此母親も、賴みに思ふ宗吾が一時立戻つたも、妻子老母へ別れのため乎と思へば胸も破裂くばかり。



京城新報

共喰論

成祖國の諺言に千人集まれば共喰に生活し得べしと云ふ事あり、韓國に於ける在住邦人の現狀如何、今や同胞の在住者は既に十數萬に達す、千人集れば共喰の生活をなし得べしとの諺よりすれば優に共喰生活の出來得可き答也、然り共喰生活は行はれつゝあり、之れ果して喜ぶべき現象なりや否耶、世には往々にして共喰を批難する論者あり論者の言ふ所を聞くに、現在移住する所の同胞は殆んど其資金を祖國より持ち來れる資金と統監府や駐剳軍が散布する金とを互に配分を受けて生活しつゝあり韓人より金を取るもの尠し同胞同士にて甲の金を乙が取り轉々以て共喰をなし居る也斯くては日本の爲に何の利益かある甚だ以て心細しと云ふ、論者の言ふ所一應理あるが如く聽ゆるも、少しく近世の經濟思想を有するものを以て推考せしむれば何等理由なき杞憂に終るべし、惟ふに此等論者が共喰を批難する所以は[illegible]經濟思想の迷說に基くものなり、世人の知る如く曾ては歐羅巴に於ても、此迷說より來れる重金制度なるものありたり、此制度の趣意は一意輸出を奬勵して他邦より正金を吸集することを以て國を富ますの途なりと誤解したるもの也、日本に於ても封建時代には各藩に此迷說は行はれたり、自藩を富ますには他藩の金を吸集するにありとし、最も緊要なる自藩の經濟發展を遺却したり、韓國在住邦人の共喰を批難する論者の論は全く此等の迷說より來れる也、若し同胞同士の取遣りをなし[illegible]ものを取ることが非なりとして放擲すれば何人が之を取るべきや、而して韓人と在移邦人は既に經濟は共通し居りて、同一經濟圈内にありて互に取り取られつゝある也、韓人より有形の正金を取らざるも、勞力、商品、土地等により年々歲々經濟的勢力を擴張しつゝあるに非ずや、要するに在住邦人が有形無形に日々發展しつゝあるは正に其證績たる也。而して統監府や軍隊や個人が年々散布する所の金は或る意味に於ては帝國發展の爲に放資するもの也、此等散布せるものを在住邦人に取らしむるは日本の國家が有利的に使用するもの也、若し之が英國人とか佛國人とか所謂外國人に取らるゝに優るや素より言を俟たず、在住邦人中には農事の經營をなし或は運送業をなし其他雜多の業に從事して富の生産に努めつゝあり、斯くして十數萬の同胞が共喰生活をなしつゝあることは正さしく日本帝國の發展也、膨脹也、勿論現狀を以て甘ずべき者に非ず、政治及軍事等に使用する費は總て此地に於て生出し此地に於て使用すると云ふ自治体の域に達せざる可らずと雖も、未だ其機は來らず、在住邦人を增加せしむるは乃ち此希望を達するの捷徑也。

共喰批難論者よりすれば、新嘉坡や布哇や米國やに出稼する邦人は眞に其意に適したるものならむ、然り彼等は共喰をなさずして正金を祖國に送り來る也、然れども是れ一時の事にして永遠の事に非ず、彼等は彼國の經濟圈内に沒入して其働は祖國に關係せず從て國家の發展に資する所のもの少し殖民地の最初に於ける共喰の狀態は各國何れも同一也、唯指導の宜しきを得ると得ざるとによりて盛衰あり、英國の印度加奈陀濠州等に於ても矢張り最初に於ては漸くにして共喰をなせり、佛蘭西、西班牙其他の殖民地も概して然り、其國民の忍耐力及指導の如何によりて成績を異にせるのみ。韓國に於ける邦人の經營も漸次に歩を進めつゝあり、指導の宜しきを得て移住者に對するを寬大にし、多數の同胞を收容するに至らば完全なる共喰生活の狀態に進むべし、在住邦人たるもの殊更に韓人より正金を取り或は之を祖國に持歸る抔の迷想を打破し、團体としても個人としても共喰生活の領域を擴張することに努めざる可らず、共喰生活の區域を擴大するは乃ち日本帝國の發展膨脹なれば也。

東京電報

▲紀念章拜受者
東宮御渡韓紀念章を下賜されたるは有栖川宮殿下伊藤統監桂首相始め六百六十四名にして韓人側は李載冕以下百〇一名なり

▲理事官の新任
總領事能勢辰五郎氏は大邱理事廳理事官に任ぜらる

▲東拓總會終了
東洋拓殖會社の株主總會は本日終了せり

▲法權撤去交涉
治外法權撤去の準備たる諸法律制定中商法に關するものゝみ殘り居れるも之れも倉富法部次官香坂法務院長の手にて完成したれば撤去交涉の開始も近きにあるべし

▲昇任延引理由
曾禰副統監昇任延引の理由は統監府官制改正の必要にて目下伊藤公、山縣公、桂侯曾禰子等にて協議中なればなりと

▲司令部と大邱
韓國臨時派遣隊の司令部は大邱に置き渡邊司令官は二十五日頃渡韓すべしと（以上廿二日發）

外報一束

●日光節約否決 紐育よりの報に依れば夏期中時計を二時間宛進めんとする日光節約案は内閣に提出されたるが内閣は是れ一般事業界を混亂せしむるが故に不可なりと決議せり

●社會黨員捕縛 莫斯科に於いて社會黨員十六名秘密會議中發見捕縛せられ證據

●排日新聞の押收 浦潮在留韓人の發行に係る大東共報第三十[illegible]

●觀光團員の遊說 觀光團員九拾四名は太皇帝の意を體し内閣[illegible]

●警察官練習生卒業 [illegible]曩きに熊本、廣島に配置さるべしと[illegible]

雜報

●攝政王の警戒 清國攝政王は列國駐在の公使其他に向ひ財政支那に關する新聞雜誌の記事にして苟も誤れるものあらば發見次第直ちに正誤せよとの訓電を發せられたりと

●露國監獄虐政 國民議會に於て社會黨は監獄虐政を摘發し殘忍の狀况も戰慄すべきものあり其言に據れば四人の拷死せらるゝもの衆く且腸窒扶斯壞血病流行し患者は手錠足枷を施されて肉の壞れたるまゝ呻吟しつゝありと云へり

●立憲と反對派 清國陝甘總督は憲政實行難を唱へ辭職を願ひ出でしを初めとしこの頃北京政府内に立憲反對（少くともなほ早しとなし）の一派を生じ攝政王も困り居るとの噂あり

●宮煙禁賣撤回 吉林に於ける日本煙草發賣停止事件は北京政府の訓電により吉林[illegible]官憲の曲解として撤回せりと

●韓人迫害警報 浦鹽斯德在留韓人は同地官憲より非常の迫害を蒙りつゝありとの警報當地の或方へ達したりとの事なり

●外人と司法警察 二十一日法部訓令第五號を以て外國人に關する司法警察事務處理心得を公布されたるが其内容は外國人の犯罪又は外國人に對する犯罪は之れを所管地方裁判所檢事長に、本國人にして外國官署、外國艦船又は外國人の邸宅内に於て犯罪を構成したる時は當該外國官憲、艦船長又は家主の同意を得て之れを逮捕し其旨所管地方裁判所檢事長及事件所管區の檢事に其旨報告すべく右の場合に於て同意を得ざる時も又前項に同じ

●新統監の權限 曾禰男統監に昇任せらるゝも其施政に關しては絕ず元老等の制肘を免れざるべしと、曾禰男が統監として適任なるや否やは暫らく措き、苟も男に統監の職を授くるとせば其政策を實施するに方り務めて其行動を自由ならしめざるべからず、濫りに統監の施政を拘束するは韓國に對する威嚴を失墜せしむるの外得る所なかるべし若し曾禰男を統監として不適任なりとせば、何故に適任の人を擧げて之に代らしめざると東京の有力なる新聞は論ぜり

●東拓財產目錄
今回開會せられたる東洋拓殖會社株主總會に對し重役より提出其承認を求めたる財產目錄は左の如し

▲拂込未濟資本金 總株數二十萬株に對する四分の三額 七百五十萬圓
▲國債證券 大藏省證券額面五十萬圓 四十九萬三千四百九十圓
▲當座預金 第一銀行京城支店外六個所 八萬六百六十一圓
▲定期預ヶ金 日本興業銀行外三個所 百〇二萬圓
▲通知預金 第一銀行京城支店 卅六萬圓
▲韓國政府出資地所 田一千四百二十五町步 畑千四百二十五町步 七十五萬圓
▲什器 金庫五個 五百十圓
▲取扱店保管金 株式會社十六銀行外六個所 七百十二圓
▲金銀勘定 銀貨二十錢白銅五錢銅貨二錢
▲第一銀行券 七十一圓七十一錢除
▲合計 一千〇二十万五千四百四十五圓

●韓國の内外貨幣 韓内地に流通する内外貨幣の總額は何等正確なる統計なきを以て其正數を知るに由なきも度支部當局者の調査に依れば約千七百萬圓位なるべく之を人口一千萬人に割當れば一人の使用平均額は一圓七八十錢ならんと而して日本に於ける流通額は四億四五千萬圓にして一人平均使用額は十圓位即韓人の五六倍に相當し居れりと

京城漫畫（其五） 南山町二丁目 松風生

京城の春のながめは、れつなもの……



●密獵取締の方法 清國密獵船の取締に就き石塚長官、長濱關稅總長、鍋島外務部長、菊池商工局長、庵原漁政課長、荻田統監府書記官の六氏は二十一日午後二時より統監府に於て協議會を開きしが結局關稅局の主宰と爲し仁川及び鎭南浦稅關より各所屬の汽船を派遣し其取締を爲さしむることに決定したりと云ふ

●管內警察署長會議 若林警視總監は昨二十二日管內各警察署長を召集し同廳内會議室に於て署長會議を開きたりと

●木内次官の歸京期 上京中なりし木内次官は本月末頃歸任の筈なりと云ふ

●牛疫檢査の方法 釜山牛疫の檢査は既報の如くなるが從來韓牛を日本に輸出するに際し日本上陸後檢疫所に留置すること二十日間にして搬出を許す方針なりしも釜山檢疫所開始後は同地に九日間留置し同地出帆後の航海日數を除き日本の檢疫所に十一日間を繫留する筈なるを以て從前に比し二三日を後るゝ都合なりと尙は釜山檢疫所は韓政府より二萬一千圓と釜山民團よりの寄附五萬圓の工事費を以て既に建築工事に着手せるが六十頭を繫留すべき牛舍八ヶ所、消毒所、隔離室、燒却場、解放場、診斷所等を落成せしむべしと

●屠獸規則制定
韓國政府にては從來屠獸規則なるものなかりしを以て內部は之れが草案を起草し目下農商工部に協議中なるが不日決定の上閣議に提出せらるべしといふ

●臨時民會と病院問題 漢城病院は去る三月の民團議會に於て之れを廢止することに決議したるが統監府にても民團の意見に贊同する旨明言したるに依り愈々廢止することゝなしそれより三ヶ月間即ち六月中に處分することに決定の上其の方法を熊谷民長に一任したるも假に之れを廢止する時は院長一ヶ年分の俸給は契約上より支給するの必要あり其他の醫員、書記、雇等にも夫々相當の手當を支給せざるべからず依て凡そ七千圓の金子を要することなれど這は或る方法に依りて解決さるゝとの由なれば近日臨時民團議會を開く筈也

●京城中學校開校式 豫報の如く京城中學校開校式は昨二十二日午後二時より西大門外獨立館なる同校假校舍に於て擧行せられたるが職員生徒及び來賓の着席ありて後國歌の合唱隈本校長の勅語捧讀、熊谷民長の式辭及設立に關する經過の報告、三浦理事官の祝辭及び隈本校長の挨拶ありて全く式を了へ夫れより來賓一同を京城ホテルに招待して開校祝宴を張り

●支配人會議の終了 去る八日より漢湖農工銀行樓上に開會中なりし支配人會議は昨二十二日を以て終了す

●東拓貸借對照表と損益計算書
株主總會に提出せし東拓貸借對照表は左の如し但し資金の部の種目金額は別項財產目錄に明示しあれば茲には單に合計金をのみ揭ぐべし

▲資金の部
合計金 一千〇二十萬五千四百四十五圓

▲負債の部
資本金 一千万圓
割戾未濟證據金 七百十二圓
大藏省立替創立費 五萬二千百十八圓
身元保證金 三百九十三圓
當期利益金 十五萬二千二百二十一圓
合計 一千〇二十萬五千四百四十五圓

▲損益計算書
同株主總會に提出せし東拓損益計算書如左

▲利益の部
總益金 三十一萬千九百七十五圓
補給金 三十万圓
當座預金利息 六千三百十三圓
通知預金利息 七十二圓
割引步合 四千九百三十圓
雜收入 六百五十八圓
合計 三十一萬一千九百七十五圓

▲損失金の部 三拾一万一千九百七十二圓
總損金
給料 一萬五千〇九十六圓
報酬 二千五百八十九圓
旅費 五千九百十四圓
營業費 八萬三千八百九十二圓
營繕費 百四十二圓
創立費償却 五万二千百十八圓
當期利益金 十五萬二千二百二十一圓
合計 三十一萬一千九百七十二圓

●東拓營業報告（要領）（一）
東拓會社總會は昨廿二日午後一時より東京商業會議所樓上に開會されたるが今同社重役よりの營業報告要領を聞くに左の如し

▲資本金及株式 本社資本金は一千萬圓株式總數二十萬株（内韓人所有株數六萬三千八百六十二株）の内拂込金一百七十五萬圓及韓政府出資七十五萬圓にして本年度には株券の交付未濟なるを以て株式の賣買讓與されたるものなし

▲處務の概要 昨年十二月廿八日創立總會の終了するや總裁副總裁理事監事の任命あり總裁は翌廿九日業務の執行に必要なる職員を任用し同卅日假事務所を設定し職員一同年末年始の休暇を廢し執務せしめ越へて本年一月五日吉原副總裁京城に出張し事務所の選定及本社設立の登記を了したり尙本社は日韓兩國に登記を要し韓國に於ても日本と同類の登記稅を賦課するの規定なるを以て双方より課稅せらるゝ時は結局數十万圓の負擔となり會社の耐へざる所なるを以て種々交涉の結果韓國政府より登錄稅賦課の免除を得同月十七日歸京せり同月廿六日職員數名を先發せしめ總裁以下職員は二月五日迄に京城に着せり爾後事務所の設定登記及倖給規則及旅費規則、處務規則、會計規則を制定し兩國政府の認可を得たり又昨年十二月廿八日付にて監理官四名を任命せり

▲現在職員數 現在職員數は合計七十九名にして總裁一名副總裁二名理事四名監事三名顧問二名調查役十名技師一名參事十三名書記三十名雇員五名囑託八名なり

●南航路の近況 大同江以今や船舶の往來次第に頻繁となり鎭南浦との交通便宜となれるに貨物の出入は例年に比し寂寥たるものにして船客の如きも本年は僅に十四五人位なりと

●香坂法務院長歸任期 司法官會議へ列席並に司法事務視察の爲め上京中なりし同氏は昨廿二日夜歸任せり

●田中事務官の出張 田中內部事務官は西韓地方視察の爲め往復一週間の豫定にて本朝平壤へ向け出張せし筈

●橫山助役の入京 橫山仁川助役は事務打合の爲昨日入京統監府及民團を訪問せり

●久田宗作氏の出發 時事新報京城特派員たりし久田宗作氏は明二十四日午前九時南大門發列車にて出發歸東の途に就くべしと

本日の集會

▲日本メソジスト敎會 旭町二丁目の同敎會にては午前十時半より木原牧師の「神に信賴するものゝ幸福」午後八時より同牧師の「罪人の友」と題する說敎あり

▲京城基督敎會 日の出町の同敎會にては午前九時より日曜學校同十時より米澤牧師の「逆境の光榮」午後八時より同牧師の第五回聖書講演會ある由

▲京城日本基督敎會 旭町四丁目の同敎會にては午前八時より日曜學校同十時より石原牧師の「盛なる求道心」と題する說敎午後八時より篠澤武夫氏の「演題未定」講話あり

公人私人

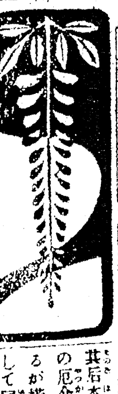
▲金谷三男（天安[illegible]） 入京中の處廿一日歸任
▲安武千代吉（辯護士） 浦尾に投宿中の處同日釜山へ
▲松本重敏（木浦理事官） 廿一日仁川を經て歸任
▲大原爾三（大阪鐵工所技師） 廿一日入京不知火
▲村幸八（德島縣水產組合長） 同浦尾
▲由岐玄次郞（同縣水產組合評議員） 同上
▲村田重治（農商務省山林技師林學博士） 二十一日入京巴城館

近事片々

▲新統監の權限は大に緊縮せらるゝ者の如し斯くても曾禰子は呑氣に引受るや否や
▲事毎に元老及內閣の指揮を受るとせば隨分煩に堪へざるべし偖も困つた事ぢやなし
▲如斯權限を緊縮よりも安じて倚托するに足るの人物の撰擇するがよし浮世は面倒
▲日本帝國多士濟々信賴して自由手腕を揮はしむべき人物なきに非ず人材拔適肝要
▲曾禰子に對する世評は種々雜多なるも兎角面黑からず是果して輿論と云ふべき乎
▲現在の評は鬼も角も曾禰子にして英斷一揮巨腕を示さば世評は忽ち萎縮すべき也
▲統監としては曾禰子尙は未製品其毀譽は實際の仕事によりて現はれむ果して如何
▲西湖先生滿面得意の色ありと報せらる登天統監昇任の爲に喜ぶれ人善しにわらし
▲宋秉畯は伊公を見限ると共に桂侯に取入り兩者の間に默契成立せりとは些と怪し
▲太郞宰相の慧巧なる宋氏と默契するが如きことなからむ手管の練磨測るべからず
▲一進會の眞相を解せる太郞宰相默契とは見せ掛け野獸的の突進を一寸換はしたる耳
▲大韓協會喜び一進會も喜ぶ淺黃幕の中がれ樂み切て落せばアヲ不思議落膽々々乎
▲韓內閣員及其他の大官連は毎日集合して新統監の事に就て評議に日を暮らせりと
▲武斷派云々の風說には韓人等隨分心配し居る者あり取入策に汲々たる者もある也
▲或る韓人曰く曾禰の智や鑑かず唯斷に至ては如何ならんと其斷を恐るゝ者の如し
▲尼加剌瓦大統領の機關新聞は米國を攻擊し中央亞米利加は併呑せられんと恐怖す
▲地峽開鑿運河の樞を日本に讓りて日本と提携し侵略を防がんと論せりとは事實乎
▲小麥買占の結果パンの價格騰貴細民困難の爲め紐育は恐慌を起したり左もあらむ
▲米國にては夏期中日光を節約せんが爲に時計二時間宛を進めんとの案提出せらる
▲然るに此節約案は事業界を攪亂するものとして否決せらると米國の節約癖の國

土洋丸、東照丸、櫻井丸、海利丸、錦江丸、安來丸、住の江丸、京城號の外日本帆船十三隻

●郵便物の護衞廢止 郵便局にては從來各地方へ配付する郵便物[illegible]部及び醫療品類を除き雜類の出沒大に減少したるを以て



●新町見物(三) 椋助

附り、繁榮策を講せよ

遊廓と避病院とはドウセ片隅に離れてあるに極まつて居るが南大門通りや、長谷川町邊から通ふとすれば隨分遠い樣だ、車に乘れば登い樣な者だが車賃が馬鹿に高い、往復で一圓は取られる、四圓の五代に車賃に仲居の心附け杯を合して其上一寸一杯飲めば十圓は取られる、車賃から節約するとは隨分ケチな話だが大に是等が影響するのだそれで茲に遊廓連中が發起して乘合のガタ馬車とか自働車とかの組合を設けて賃錢は五錢か十錢の均一にするのだ晝間は電車と競爭して宜しい、甚だ厄介な樣だが斯樣な電略から廻らして行かねば、到底繁昌は覺束ないよ……それから今度は客の待遇に注意することゝ女郎に少しく行儀を敎へることだ女郎風情に行儀杯云ふ事は無理な注文だが少なくとも太平町邊の**淫賣婦**よりは**上品**にして欲しい試外廓内の裝飾から女郎部屋の裝飾杯も必要だらふ、其れから夏杯は遊廓裏の空地を利用して**遊技場**杯を設けるのも一策だ、出來る事なら大樹屋の上の方の山を**公園**に爲たら一層妙だ、俺が言ふ通り何も彼も出來る譯には行くまいが遊廓組合で改良策を講すると云ふ熱心があれば大抵な事は出來るサ惡口を利く樣だが今の儘では駄目だよ追々**商賣替**を思付かねばならぬ破目にならぬとも限らんからナー、以上は椋助が初めて觀た目に映じた感想だ今一二度足を踏み込んで出來る事なら一遍位は登樓もして各樓の内幕を能く聞いて追々惡口を叩くことゝしよう(完)

●破戒僧の窃盗 ▲元當地本願寺の納所

福岡縣築上郡??城村大字??我生勇猛(二十)は我生數と云へる僧侶の長男にして幼少より佛門に入り讀經三昧に身を委ね居りしが昨年??渡韓して長谷川町西本願寺の納所を勤め居たりしが元來此男は性質正しからざる男にて永く辛抱も出來ず暫くして本願寺に來り小使を爲し居りしが是れも一週間程で退社し?後京義線某驛の掃除夫に雇はれ居りしも是れ又永く腰が据らず二十日程振りに又もや京城に逆戻り爲す事なく諸所を徘徊中本年一月中旬花園町日本寺へ供養に至り同居せる旭町一丁目井上某の??衣(代二十五圓)を窃取し逃走せんとせしを井上に發見されて取返へされしが其后本町九丁目衛戍病院へ通勤せる横川某の厄介となりて己れは豆腐行商を爲し居たるが横川が所持せる軍隊の毛布數枚を窃取して同家を出て之を本町八丁目古賀質店へ金一圓に入質し其后は大和町二丁目?原と云へる後家さんの處へ入込み居りしが二十でも十四五日を經て衣類二枚(代十圓餘)を窃取して其所を出奔し之れを本町栗山質店へ僅かに壹圓に入質し其れより大和町二丁目中井と云へる洗張屋の注文取りに住み込み一ケ月計りを勤めたるが其内に注文品たる米澤壹反(十圓餘)を窃取し本町七丁目松質店へ僅かに五十錢で入質し其れより同家を出で南大門外御成町洗張商岡本末松方に雇はれ毎日注文取りに出掛け既に女博多帶一筋、縮緬兵兒帶一筋と外に掛?十幾圓を費消し居りしを南部署の長野、工藤兩刑事が探知し一昨日岡本方にて逮捕したるが右の外多くの犯罪ある見込にて目下取調中

●裸体美人の繪葉書 ▲仁川署にて檢擧さる

仁川市中にて昨今裸体繪葉書等を寫せる繪葉書を密に販賣せるものあることを仁川署刑事が聞き込み再昨夜より檢擧に着手したる所其の販賣方頗る巧にして同夜は遂に檢擧する能はざりしが一昨夜八時過今井、石川の二刑事が宮町三丁目三横商店の前に來掛りし頃廿五六の男洋燈に密畫をすかし見物人に觀覽せしめたる上直に洋燈を消して之れを販賣し居たるものありたれば二刑事は直に之れを引捕ね右繪葉書四十九組を押收し直に其の下宿せる寺町石橋方に至り尚ほ密畫七十組を押收したる上本署に引致取調べたる所右は德島縣生れの大西定雄(二六)と云ふものにて釜山にて右密畫を販賣し居たる際其の宿泊せる旅館西町若松屋の下女山口縣生れ川本みね(二?)と云ふ一寸撥皮の剝けたのを手に入れ去る十六日二人連れで來仁し前記石橋方に止宿し販賣せしことが判明したれば現品を全部沒收し今後かゝる營業をなさいと說諭し放還したりと

●出放題 むら

結ばれて、我が名はまだきたちゆちにし戶も閉ぜられず人の口、かゝれとてしもはいのらぬを、野暮な出雲の神樣と恨みいふ?も耻かしい、立つた浮名が二人の仲を、結ぶ因緣の緣の糸、たれに?化粧、初めて結ふた丸髷や合せ鏡に嬉しさの、色やこぼるゝ鹿の子の手から、憎らしい程可愛いと、云はれた昨宵の睦言を、思ひ出しては我が顏の

●酌婦に貸が在哩

熊本縣下??郡愛野村富?京城旭町三丁目十番戶大工前田?吉(三十)は一昨夜十一時?明治町三丁目飲食店?野吉五郎方に至りシタヽカ?ひたる揚句此家の酌婦には俺の方に百圓の貸があると杯を放言し果ては手當り次第器物を破棄

……するにぞ此旨明治町交番へ訴出でしかば巡査出張して南部署に引致し損害約十五圓を支拂ふ事となりて事濟み

●敷島遊廓の檢梅

仁川敷島遊廓の檢梅は一昨日午后勵行せられたるが總人員は九十六名にして中入院を命ぜられたるものは日進樓の小鷹一名にして局部の洗滌を要するものは敷島支店の若良、第一高砂樓の相模の二名咽喉洗滌を受けたるものは第二高砂樓の小紫及び第一高砂樓の仙臺等にして自宅にて受檢したるもの二名ありたる外他には何等の別條もなかりし由

●酔つて告發さる

當地南大門通三丁目鍛冶屋業春木米吉方雇人德島縣士族鍛冶職加澤隆之進(三十)と云へるは去る二十一日夜十二時頃泥醉して本町一丁目裏通り雜貨店浦邊はま方に至り頻りに暴言を吐き其れより附近の蝎市屋に至りウロ〳〵なし居たるを警官に認められ南部署に引致の上告發さる

●泥棒總角捕はる

一昨日午後二時半頃一人の撥軍本町憲兵隊構内にありし古板一枚を窃取して逃走せんとせしを巡行中の鈴木部長に取押へられたるが此奴は李春萬(十?)と云へる總角

●仁川の傳染病

仁川京町一丁目浦本力松方岸本俊は二十一日腸窒扶斯に罹り又萬石町高橋つい(十?)は天然痘に罹り共に避病院に收容せらる

●井門本店の新妓

昨日當地井門本店より玉奴と名乘りて現はれたるは香川縣香川郡栗井村大字上の村大野まさ(十八)と云へる可愛らしい妓

●素人大寄相撲

昨日より明日迄本町七丁目京城座前に於て京龍仁合併の素人大寄角力を興行中なるが同人にても飛入勝手次第にて景氣頗る宜し

●待合春の家の開業

當地大和町一丁目元司令部通りに新に春の家と稱する貸席開業したるが萬事低廉を旨とし大に來客の便利に努むる由

●演藝だより

壽座 同夜の替り藝題は「有馬の猫」にて明日は「百萬圓」なるが田宮の扮する小頭半六は適り役なれば隨分見物なるべし

●公判だより●●●

來る廿四日法務院に於ける公判左の如し

一 民事(午前十時)上訴人小出茂質被上訴人萩原梅吉間貸掛代金請求、上訴人西田慶太郎被上訴人吉田豐八間の貸金請求

一 刑事(午前十時)刑事被告人向井メ太郎殺人事件

▲談・き・妹・と・背▼

是は滿家で、董子は女子大學生である政?十二時に二人は初めて遇つた、午後二時に??夫婦約束が出來、三時半??結婚?、??、然かして蜜の如き新婚の樂み、此二人を見舞つて??東の間で四時にはもう口喧嘩をし五時には摑み合をしてうして二人が永久の離別をしたのは實に午后六時であつた



揑造中傷無用のこと 小便も亦御斷り申候

▲風呂の流しで立つて水を浴びて他の迷惑を省みぬ人は職人や何かでなく却つて巡査風の口髭嚴めしき方に多い原因は故鄕の野天風呂の青蛙や木の葉のゆだり上つてる奴を撥び出しながら「太郎作の娘れへいこや此方向けよそげるにすますご尻部まくるぞホイトコ〳〵」とか何んとか唸鳴りながら入浴つて居た癖が拔けぬのだ、と云つた人がありますが豈夫(半信生)▲オイ苦笑子君八重咲が二階建て増しに古障子を用ゐたのが何が可笑しい韓國には例のある事だと威張るが其の例が客だと云ふんだ商賣柄を見なくつちや不可ないよ此樣引つ込み思案な者が多いから不景氣なのだ不景氣だ不景氣だと騷いで居たら何う成るのだ聞して呉れ玉へ(失笑子)▲僕は生命を懸けてまで戀ひ慕ふて居る女がある別段美人でもなければ財産家の娘でもない良家の娘でもない實際は或る官舍の仲働きである一日でも見ないと氣の濟まぬ程だ此の心が通じたら登夫先方でも厭だとは云ふまいと思ふが小僧君鑑定して下さい(煩男)▲此れ丈けでは鑑定が出來ぬ君の資格を聞かう何程惚れて呉てる男でも乾し殺される樣な所へは來ないからね(小僧)▲(前略)秋田に對する本日の雜報溜飲か下り申候先刻も他より知人參り居り貴紙の記事を讀み喝采を致し候樣の始末如斯人間を出酒張らしむるは在韓居留民の耻辱かと存じ申候痛快〳〵(野生渡韓)以來の痛快事に御坐候多謝(快哉生)▲小笑サン、あなたら、ずいぶん、ひどい、ですわね、出羅さんを、さんざんに、のぼらせて、れかせて、おゲく〳〵丁ち、小僧さわ、あなりですよ、ちかい内に、内地からかゑられるそうで、それもいくすが歸られたらあれを見て何と思われましよか男であれば定めし幾切り騷ぎ位わ初まる存かと察しますが其時はお叔父樣が御仲裁なされてすか(心配女)▲原文の儘(係)





●天氣豫報(自廿二日午後六時 至廿三日午後六時)

南西の風晴

廣告

▲無料紹介欄▼

人事部

●被雇度　年二十五歳身体强健多年農業に經驗あり殷中經營者へ雇はれたし市内に確實保證人あり　姓名在社（二五九）

●被雇度　年二十六歳身体壯健にして勞役に堪ゆ精米所又は雜貨屋に雇はれたし市内に確實保證人あり　姓名在社（二六二）

●被雇度　多年寫眞術に從事尤も技術を善くす給料多きを不望至急被雇たし　氏名在社（二六一）

●下女希望　年十九確實なる身元保證人あり堅氣の家に雇はれたし　氏名在社（二六五）

●尋ね人　謝金　伊豫松山附近より來る人あれば依賴致度事あり謝金十圓を呈す　氏名在社（二六四）

物件部

ヴァイオリン講習樂器を備へ懇切に教授す　毎週月水金午前十時より　永樂町三番樂講習會（二五六）

中古英國製コースター付自轉車至急讓受けたし　姓名在社（二五七）

●賣貸家　大和町元軍司令部通庭内三百坪西洋二階建廿七坪平家廿四坪電燈電話附會社病院向格安賣又貸度し　氏名在社（二六三）

廣告

東洋總代理店　實用石鹼　アイボリー石鹼　藤原京城支店　電話八壹壹〇番　九四



移轉廣告

今般業務擴張の爲め左記の處へ移轉す　南大門外御成町紅葉館跡　（茂呂運送店前）

五月　開通　戸田病院　電話九三八番

待合　春日　京城旭町一丁目　電話九〇番

待合　かしく　京城旭町一丁目　電話二九番

馬車配達

純良　牛乳　京城東四軒町　岡野牧場　電話〇六九番

衞生と消毒…　滋養と牛乳…

九州セメント　上等生石灰販賣　京城南山町一丁目電話三四四番　山村商店

九州セメント　京城南山町一丁目電話三四八番　中村運送店

種各　洗濯石鹼　專門製造販賣　用途一一陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道、諸工業用　京城旭町二丁目（電話九七三番）　朝日石鹼製造所

京城ニ事務所ヲ新設シ法律諸般ノ高囑ニ應ス

日本法律學士　辯護士　石黒行平　京城南山町三丁目五十五番地　電話二六五番

事務主任　京城事務所　藤井市郎　新裁判所書記　天眞樓右横

共同執務　仁川出張所　石塚嘉弌　公認代理業者　仁川港山手町二丁目八番地　各國警察署前　電話二六五番

醫業科目　活版印刷　石版印刷　木版彫刻　ライプ版　寫眞版　精版製本　製本裝訂

今回日韓印刷株式會社ヲ改稱シ日韓印刷株式會社ト…

日韓印刷株式會社　本社　京城明治町三丁目　電話（三三三番）　東京出張所　東京京橋區南鍋町一ノ十　電話新橋（三九六二番）

移轉廣告

今般都合に依り京城南大門外古市町に移轉仕候に付此段廣告仕候也

明治四十二年五月十八日

土木建築請負業並材木商　堀内京城支店　堀内茂吉　（電話一六九番）

追て弊店儀堀内組と同姓の爲め郵書其他往々間違相生じ候に付當方は商號を堀内京城支店と稱し候間此段爲念廣告仕候也

新荷着廣告

歐州各國帝室御用品　品質優等、意匠艶麗、

G.D. 印トルコ金口煙草（百本入・十本入）

外各種百本入、二十本入、十本入とも右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候

追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候

直輸入元　仁川本町一丁目　トルコ煙草商會　電話（七一五番）

夏物大賣出し

五月十八日より同廿四日まで一週間

並に見切品よせ切澤山聊か御添物差上可申候

君が代足袋發賣元　京城本町四丁目　山口呉服店（電話九番）

名拳銀牌受領　キリンビール

易斷觀相教授　京城本町五丁目　三一館



會席御料理　本町八丁目　富士見樓

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣　建築業　柴田芝六　京城旭町三丁目　電話五六八番

石川表具店　統監府御用　宮内府御用　軸物表裝　金銀屏風　額面種式　壁張天井張　京城曙町（電話二八七番）

醫術開業廣告

眼科　内外科　花柳病科　特に眼科

五月…日より六丁目共愛社醫院跡にて…

河本博士に多年親炙せり　東京醫科大學選科卒業　同國家醫學講習科卒業

瀧澤醫院　瀧澤喜太郎

明治町二丁目七十五番戸　辯護士　岩田仙宗　電話二五四番

消毒　化學的　特定御用　牛乳　荒井牧場　電話一〇五六番

東京高等改良　開業　貸席　大和町一丁目（京城日報前）

美術…　新製…調進…　電話六七…

桶類製造大安賣　明治町一丁目横町通　矢野商店

明治廿年七月創立●京城代辨店　本町四　山口呉服店　電話九

東京海上運送保險株式會社　資本金一千萬圓●事務所　京城本町二の三電話一〇六〇番

特約販賣自製　大上商店

漬物　味噌　醬油　製造元

相洋酒、◎精酢、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣

尚御望に依り商品切手調進仕候

京城本町五丁目　（電話二五一番）

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）

辯護士　岡田榮　京城旭町一丁目六十七番戸　（電話三九八番）

元祖　消毒殺菌　牛乳　山牧場　京城大和町壹丁目　電話一三三

貸席待合　開業御披露　入船　南山町一丁目坂上

南山の風景を眼前に眺め浴場の設備あり

▲清潔の下宿▼

客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戸横小路（元花屋跡）

▲懇切の下宿▼　かめ屋

讀み玉へ最も廉なる　大阪日報　一ヶ月廿錢　京城領事館通　大成社

★株式會社百三十銀行韓國總支店　京城本町二丁目十五番戸　電話五十八番

資本金五百萬圓　頭取　安田善三郎

爲替取組先

畿内　大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市

東海道　東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、

東山道　彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七日市、高崎、

北陸道　小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟、

山陰道　宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田、

山陽道　龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、柄、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、秋、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山、

南海道　串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、入幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、

西海道　直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、入幡、長洲、

北海道　函館、小樽、札幌、

台灣　臺北、臺南、

濟韓國　仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、馬山、

銀行一般の業務精々便利取扱申可候

日本郵船株式會社　仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店　仁川海岸通　郡回漕店　電話三九番

●釜山長崎門司神戸行　山東丸　六月　六日午後三時出

●大連、太沽、牛莊行　高砂丸　五月二十七日正午時出

●大連、太沽、牛莊行　山東丸　五月二十五日前五時出

●大連、太沽、牛莊行　酒田丸　六月　十七日正午　出

●釜山出帆、元山、清津、浦潮行　立神丸　五月二十六日午後

御注意　御乗船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船五出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月金拾錢

●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲廣告五號活字十九字詰一行金五十錢

發行兼編輯人　秋山忠三郎

印刷人　高木久馬太

發行所　京城新報社　京城西四軒町　電話六六三番